

Rotary International District2780

GOVERNOR'S

Monthly Letter

2022
3月号
Vol.9

2021-2022
ガバナー月信

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

SHIFT UP ROTARY



国際ロータリー 第2780地区

2021-2022年度

地区大会開催

2022年

3月20日(日) 第1日目 会長・幹事会 クラブリーダーセミナー

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会【鎌倉パークホテル】

21日(月・祝) 第2日目 新世代交流会 本会議 大懇親会【藤沢市民会館】

RI会長代理
三木 明氏
姫路RC



本会議 記念講演
平松 廣司氏
横須賀RC



Rotary



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透
Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima

ガバナーメッセージ

クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2021~22年度ガバナー

田島 透



ロータリアンの皆様には日頃何かとご協力を賜わり誠にありがとうございます。

2021-22年度も3月で9か月を経過することとなります。

今年度も2年前から続くコロナ禍で、度重なる蔓延防止や緊急事態宣言で当地区の重要な諸行事に影響が出ています。

2月に入りロータリー奉仕デーが開催される時期となりました。しかし新型コロナの影響で開催日の変更や規模を縮小するなどで実施可能性を検討し調整を余儀なくされました。

【ロータリー奉仕デー】

2月5日(土)鳥山優子AGの第8Gでロータリー奉仕デーが開催されました。出席させていただき、感染拡大のためにハイブリッド配信での開催でしたが太田幸夫氏による基調講演とHANDSIGNによる手話パフォーマンスで多様な人々とのつながりを大切にしたDEIへアプローチした楽しく有意義なロータリー奉仕デーでした。残念ながら県立平塚ろうあ学校の生徒のリアル参加はかねませんでしたが、この活動が次につながることを期待しています。

今年は従来のグループ毎のIMに代えてロータリー奉仕デーを実施してもらっています。それぞれのグループのガバナー補佐とホストクラブの皆様との調和を取られて、グループの地域のニーズを捉え、それぞれの特徴を生かした内容で計画されています。参加された一般の方々やロータリアン同士の交流と情報共有が持てるばかりか、ロータリーの目的である「多くの人々との出会いと繋がりを活かしたコミュニケーション創り」になります。これから開催されるロータリー奉仕デーにできるだけ多くの皆さんの参加をお願い申し上げます。

RI会長が本年度強く推進しております「DO MORE

GROW MORE」では「もっと行動する」ために「もっと成長する」必要があると言っています。奉仕活動をするためには、多くの会員の参加が必要です。多くの活動ができる会員基盤があつてこそ素晴らしい奉仕できるのです。奉仕を実践し、その活動が認知され、地域に必要とされるクラブとなれば、会員増強につながります。そしてよりインパクトのある奉仕活動を実践するチャンスが広がります。そしてEACH ONE BRING ONEで会員増強することで元気なクラブにしましょう。

【地区大会】

従来、当地区的地区大会は毎年10月頃に開催されていました。今年は新型コロナウイルスの影響を避けるため3月20日・21日に開催することにしています。対面での地区大会はクラブレベルを超えたロータリーのビジョンを共有でき、思い出に残る親睦を経験する絶好の機会ともなります。

この開催の決定に至るまでに、会員の皆様やクラブ事務局の方々から地区大会開催の有無についてたくさんのお問い合わせを頂戴し多大なるご心配をおかけしています。

私たちの生活において、新型コロナ感染拡大の影響による行動制限が続いている。三回目のワクチン接種の遅れ、PCR等の検査体制が広がらないなどの課題が指摘されています。しかし、感染者が前週と比べて減少傾向にあり、少し明るい兆しを感じています。とはいってまだ気の抜けない状況であることは変わりません。今後とも、感染予防および拡散防止のために最大限の配慮をしながら開催に努めてまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

万全の感染症対策を講じ、安心安全な地区大会をふじさわ湘南ロータリークラブがホストクラブとして開催いたします。当日、皆様と一緒に会話しできることを楽しみにしています。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	3
2022~23年度国際ロータリー会長	5
地区大会のお知らせ	6
地区戦略計画委員会より	8

ガバナーエレクトより	10
第2、第3グループ共催チャリティーコンサート	11
地区会員増強維持拡大委員会より	12
コーディネーターニュース	13
ロータリーの創生	14
GROW MORE MEMBERSHIP、新会員紹介 他	15

月間テーマについて

水と衛生月間

「世界水の日」

国連世界水の日実行委員会

代表 懸田 こころ

3月22日は国連が定めた「世界水の日」です。世界水の日は国連が地球の未来を考えるために最初に定めた日です。

私たち世界水の日実行委員会は2009年から国連UN WATER公認の活動として連携を取りながら「世界水の日こども議会」を開催し、地球の未来を担う子ども達一人ひとりが、水のことを考えてアクションすることを呼びかける「I'm Water Action」を実施しています。

あらゆる生命の源である水のことを考えることは、地球の未来を持続可能にするはじまりであり、一人ひとりの生活を見つめることに繋がります。

水は我々の健康にも繋がっています。きれいな水と衛生は一対です。衛生環境を整えるには水は不可欠です。きれいな水、豊かな水を次世代に繋ぐためにはどうしたら良いか考えることは、生活の中にある水を想うことに繋がり、水をきれいにしようと思う気持ちが、一人ひとりのアクション〔行動する〕に繋がった時、水は持続可能であり、水の惑星である地球の未来も持続可能であるのではないかと思います。

国連世界水の日は毎年テーマがあります。2022年のテーマは「地下水—見えない見える化する」です。地下水は直接見えないけれど、私達の命と生活を豊かにする大切な宝の資源です。地下水の恵みを持続可能にするには何ができるかを考え、地下水を大切にするためのアクションが、世界で起こる水問題を解決するきっかけになるかもしれません。



世界水の日こども議会は2013年度から日本を代表する水の都、水都大阪と共同プロジェクトとして、春の風物詩「大川さくらクルーズ×世界水の日こども議会」を開催しています。協力企業団体:水都大阪コンソーシアム、大阪水上バス推進協議会、財団法人河川協会、等。

又、大阪府市教育委員会のご賛同をいただき、大阪府下42万人の小学生にチラシを配り、一人ひとりが世界水の日のテーマを考えて、自分が出来ることをアクションする「I'm Water Action」を実施しています。子どもたちが考えたアクションはUN WATERに届けて世界へ発信しています。

世界水の日こども議会の初年度は、藤沢市の新江ノ島水族館で開催いたしました。開催にあたり、当時、水と防災の地区リーダーの田島ガバナーをはじめ藤沢のロータリアンの皆様には、活動へのご理解と多大なるご尽力をいただきました事を、改めて感謝申し上げます。田島ガバナーには現在も引き続きご高配を賜り、今回「水と衛生」月間に寄稿の機会をいただき誠にありがとうございます。

「水と衛生」月間に、ロータリアンの皆様にとって水を思う機会となり、お一人おひとりが、ご家族、ご友人、身近な皆様と水を思うきっかけになり、アクションに繋がりますことを心より願っております。

次世代を担う子ども達に生命の源である尊い水を繋げることができますように。



月間テーマについて

インドのトイレ事情

2021～22年度
地区戦略計画委員会
委員長 相澤 光春
(ふじさわ湘南RC)



ロータリー財団は米国慈善団体の格付けを行うチャリティ・ナビゲーターから14年連続で最高の四つ星評価を受けました。世界中で女性、子ども、貧しい人たちを助け環境問題にも取り組んでいる疾病予防、水と衛生、母子の健康に特化したプロジェクトをはじめ、世界で最も緊要な人道的問題に200以上の国、地域で120万人会員が協力していると高く評価された。

私は2014年5月から7年間毎年インドにポリオ根絶のためのワクチン接種活動に参加しております。そのインドでは著しい経済成長を遂げていますが、反面トイレ設置状況は富裕層の間では温水洗浄便座付の高級トイレが普及している中、2015年ユニセフの調査によると、野外排泄人口は、約5億2300万人を超えるそうです。世界全体では約9億人で、インドだけでその6割を占める。野外排泄が主な原因とされる感染症により、5歳以下の子ども達が年間約12万人も亡くなっているそうです。

トイレは不浄で遠ざけるものという古来の考え方もその背景にあると言われ、住宅の敷地内に設置されることも多い。

政府は野外排泄をなくすキャンペーン「きれいなインド」を行っていて、トイレの設置と、人々がトイレを使用するよう啓発活動や貧困家庭には助成金も支給しているそうです。また、2030年までにSDGsのひとつとしてすべての人が、「安全に管理された」衛生設備を利用できるようにする取り組みがありますが、汚水処理設備が十分でない地域では、トイレの污水が地下水に浸み込んだり、大雨で汚物があふれている問題や宗教の教えもあり、きれいな水への道のりは大変険しいと思いました。

トイレがない日常生活をおくる人々への人権の問題とも考えます。早くトイレの普及を願うばかりです。そして新たな取り組みとして考えてみたいものです。



2022~23年度国際ロータリー会長

2022~23年度 国際ロータリー会長



ジェニファーE.ジョーンズ

ワインザー・ローズランド・ロータリークラブ
(カナダ、オンタリオ州)

2022-23年度国際ロータリー会長として、ワインザー・ローズランド・ロータリークラブ(カナダ、オンタリオ州)会員のジェニファーE.ジョーンズ氏が指名されました。115年に及ぶロータリーの歴史で初の女性会長となります。

ロータリーの行動計画は、ロータリーによるインパクトを高めるための推進剤であるとジョーンズ氏は話します。

「新しい戦略的優先事項を検討する中で、近年の歴史の中でも紛れもなく最も重大な時期に、ロータリーの『適応力』が私たちの道しるべになろうとは誰も予想していませんでした」と、自身のビジョンの中でジョーンズ氏は述べています。「希望の兆しは最も困難な状況から生まれるものです。測定可能な目標を基軸として、私はこの歴史的な状況を生かし、今日の現実を反映した機会をとらえ、培い、伝えていきます」。

女性初の会長に指名されるにあたり、ジョーンズ氏はロータリーの「多様性、公平さ、開放性(DEI)に関する声明」の重要性を理解しています。「多様性、公平さ、開放性を最優先し、女性会員や40歳未満の会員を増やすには、まずリーダー陣がこれを実践し、そのメンバー構成に反映させていく必要があります」とジョーンズ氏。「どちらの目標でも2桁の成長を目指し、決してロータリーファミリー全体を見失わないようにします」。

ジョーンズ氏は、ワインザーにあるMedia Street Productions Inc.の創業者兼社長です。ワインザー大学の理事長、ワインザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務めたほか、その奉仕活動が称えられ、YMCA Peace Medallion、Queen's Diamond Jubilee Medalを受勲し、カナダ人初のウェイン州立大学Pecemaker of the Year Awardを受賞しています。また、法学の博士号(LL.D.)を有しています。

現ロータリー財団管理委員であるジョーンズ氏は、1997年にロータリーに入会し、RI副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任しました。また、ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド活性化の取り組みでリーダー的役割を担いました。現在は、ポリオ根絶活動のために1億5000万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now:歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。

最近では、新型コロナウイルス対応のためのファンドレイジングを目的としたテレソン(Telethon)を先導。このイベントは65,000人以上が視聴しました。

ジョーンズ氏は超我的奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞しているほか、夫のニック・クラヤシッチさんと共に、アーチ・クランフ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員となっています。

地区大会のお知らせ

国際ロータリー第2780地区 2021-2022年度 地区大会

2021~22年度
地区大会実行委員会
委員長 市川 洋
(ふじさわ湘南RC)



「SHIFT UP ROTARY」未来に向けて成長しよう!

早春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

世界各地で猛威を振った新型コロナウイルスの「オミクロン株」もピークアウトを迎え、ワクチン3回目の投与も進み、久しぶりに明るい兆しが見えてきております。

本年度の地区大会は「SHIFT UP ROTARY」をスローガンとして、未来に向けて成長しようと数々のプログラムを企画いたしました。RI会長代理には元RI理事でロータリー財団管理委員(2021-25年度)三木明氏をお迎えし、「クラブリーダーセミナー」を開催。本会議ではかながわ信用金庫理事長・平松廣司氏をお招きし、日本の未来を変えた「渋沢栄一」についてご講演いただきます。今後の活動において未来を考える機運となり、ロータリーの魅力とパワーを感じていただけたら幸いです。

皆様方の健康と安全の確保を最優先し、プログラムを簡略化しつつも内容が凝縮された地区大会となるべく準備を進めております。本大会開催日は春分の日。春の訪れとロータリーを多くの仲間と共に祝福できますよう、皆様方のご参加を心よりお待ち申し上げております。

RI会長代理

2021-25年度
管理委員

三木 明 氏
姫路RC



1981年に姫路RCに入会
2018-20年度 RI理事

2020-21年度

ロータリー財団特別アドバイザー、RI会長代理、研修リーダー、ガバナーエレクト研修者委員会委員、ロータリーコーディネーター補佐、規定審議会代表議員、国際大会・国際協議会での会場監督を歴任。
RI日本青少年交換委員会委員長を務める。
1985年以来地区のRYLAセミナー、全国RYLA研究会、全国インターラクト研究会を主催。

元インターラクターであり、財団特別功労賞を受賞。千春夫人とともに財団のベネファクター、メジャードナー、アーチ・クラシフ・ソサエティ会員。

3/20
日

大会第1日目

クラブリーダーセミナー 15:30~16:40

三木 明 氏 姫路RC(RI会長代理)

講演 「ロータリーのリーダーシップ」

歓迎晚餐会「ミニリサイタル」

鎌倉パークホテル／17:30開宴

小野 リサ

PROFILE

ブラジル・サンパウロ生まれ。

10歳までの幼少時代をブラジルで過ごし、15歳からギターを弾きながら歌い始める。

1989年デビュー。ナチュラルな歌声、リズミカルなギター、チャーミングな笑顔で瞬く間にボサノバを日本中に広める。ボサノバの神様 アントニオ・カルロス・ジョビンや、ジャズ・サンバの巨匠 ジョアン・ドナートら著名なアーティストと共に演。ニューヨークやブラジル、アジア各国での公演も積極的に行っており、海外においても高い評価を得ている。日本におけるボサノバの第一人者としてその地位を不動のものとしている。



地区大会のお知らせ

3/21
月・祝

大会第2日目

本会議 記念講演

15:50~

かながわ信用金庫 理事長

平松 廣司 氏 横須賀RC

1949年9月横須賀市生まれ。

横浜市立大学大学院修士課程修了(金融論)。1972年、三浦信用金庫(現かながわ信用金庫)入庫。常勤理事、常務理事、専務理事を経て2008年に理事長に就任。2013年11月には横須賀商工会議所会頭に就任。現在は神奈川県信用金庫協会会长、関東信用金庫協会会长、全国信用金庫協会副会長等の役職も担う。信用金庫経営の傍らワークとして渋沢栄一研究を続ける。2015年秋に黄綬褒章受章。趣味は読書。

「論語と算盤」と企業経営

明治維新後、新政府で常に未来を見据えて日本経済の基礎を築いた渋沢栄一について、金融機関トップの視点で語っていただきます。

明治の巨人である渋沢のパワーと才に触れ、日頃の事業とロータリー活動の未来を考える機会になったら幸甚です。

エクスカーション AM8:30集合 AM8:45出発

鎌倉殿の13人大河ドラマ館見学と鶴岡八幡宮参拝。鎌倉殿の13人は、NHK大河ドラマ第61作目。三谷幸喜が脚本を務め、主演は小栗旬で2022年1月9日から放送。その世界観が楽しめる大河ドラマ館への見学と、鶴岡八幡宮への参拝。昼食は日本料理「隠れ里車屋」にて、伝統の味とくつろぎの空間を楽しんでいただきます。



大懇親会

18:00~19:30

藤沢市民会館前多目的広場

3密の回避を考慮し、オープンエアな空間での開催。地元自慢のキッチンカーでのお食事をお楽しみいただき、地区内ロータリアンの友情をはぐくむ場所をご用意します。

新世代交流会

10:00~12:30

藤沢市民会館第1展示ホール

① 基調講演 「SDGs 共に考えよう」

講演者 片山清宏 氏

湘南ビジョン研究所理事長

PROFILE

1975年生まれ。藤沢市出身。

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。2013年NPO法人「湘南ビジョン研究所」を設立、「湘南VISION大学」を設立・開校(学長)。専門は環境政策。



② グループディスカッション

「未来を語ろう 君のために、
みんなのために、自分のために」

プログラム

第1日目

3月20日(日)

●会長・幹事会

[鎌倉パークホテル 洋室大宴会場 翠雲]

13:00 登録受付

13:30 点鐘

14:14 大会決議案協議

14:25 地区委員会報告

15:00 点鐘

●クラブリーダーセミナー

[鎌倉パークホテル 洋室大宴会場 翠雲]

15:00 登録受付

15:30 開会

15:35 講演「ロータリーのリーダーシップ」

RI会長代理 三木 明

16:40 閉会

●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

[鎌倉パークホテル 洋室大宴会場 翠雲]

17:30 開宴 ミニリサイタル 小野 リサ氏

19:40 閉宴

第2日目

3月21日(月・祝)

●新世代交流会

[藤沢市民会館 第1展示ホール]

10:00 開会

12:30 閉会

●本会議

[藤沢市民会館大ホール]

12:30 登録受付

13:30 点鐘

13:36 開会の言葉

13:38 物故会員への黙祷

13:43 参加者紹介

14:08 歓迎の言葉

14:10 ガバナー挨拶・地区現況報告

14:25 RI会長メッセージ・現況報告

14:45 地区大会決議報告・地区大会決議採択

14:50 記念事業の披露・目録贈呈 来賓祝辞

15:10 新世代紹介

15:25 表彰

15:45 休憩～

15:50 記念講演 かながわ信用金庫 平松廣司 様

16:52 ガバナーエレクト紹介・ガバナーノミニー紹介

17:01 次期ホストクラブ紹介

17:06 RI会長代理ご夫妻に記念品贈呈 直前ガバナーご夫妻に記念品贈呈

17:11 大会を顧みて

17:21 ガバナー謝辞

17:26 閉会の言葉

17:29 点鐘

●大懇親会

[藤沢市民会館前多目的広場]

18:00 開宴

19:30 閉宴

地区戦略計画委員会より

どんどんチャレンジ! クラブビジョン作り、 行動目標作りをしよう!

2021~22年度
地区戦略計画委員会
副委員長 阿部 剣朗
(藤沢南RC)



第2780地区、地区ビジョン

私たちは地域社会の変化とニーズをとらえ、地域社会にインパクトをもたらし、多様な人々との出会いと繋がりを活かして、良い奉仕を実践するために積極的に行動します。

皆さん、こんにちは。地区戦略計画委員会の阿部剣朗でございます。

当委員会の相澤光春委員長が1年目に地区ビジョンを作成し、2019年10月18日の地区大会にて認証を受けました。1年目の後半、及び2年目の委員会にて、地区ビジョンに對応する優先事項と行動目標を委員会にて侃々諤々、議論の上作成致しました。

相澤委員長3年目の今年度は、作成した地区ビジョンを第2780地区に浸透させ、各クラブにおいて、クラブビジョン、クラブの戦略計画作りの推進、バックアップさせていただく活動をしています。

田島ガバナーが7月31日クラブ活性化ワークショップセミナー、12月4日フューチャービジョンセミナーを企画、開催されました。両セミナー共に当委員会も参加しました。

クラブ活性化ワークショップセミナーは10月24日の国際ポリオデーを活用し、公共イメージと認知度を向上させ、会員増強を実現しよう!というものです。

セミナーのセッション①では、地区ビジョンの4つの優先項目をテーマにして各分科会にて議論していただき、セッション②では奉仕の実践を公共イメージ向上にどのように繋げるか、又、公共イメージ向上から、どのようにして会員増強に繋げるかを議論していただきました。

フューチャービジョンセミナーはロータリークラブが地域社会で必要とされる組織であり続けるよう、クラブビジョンや中長期戦略計画及びクラブの行動目標を立案する為の模擬検討会です。

この2つのセミナーによって、各クラブのクラブビジョン作成、中長期戦略計画作りが進んでいるものと思います。

さらに月信を使い、各クラブのクラブビジョン又は中長期

戦略計画作りの動機や作成過程の苦労話を掲載致しました。9月号から3月号までの掲載内容は次のとおりです。

- 9月号 平塚RC戦略計画
- 10月号 横須賀RC戦略計画
- 11月号 地区戦略計画委員会のちょっとしたお話し
～ビジョン、行動目標を作るって大変?～
- 12月号 茅ヶ崎RC戦略計画
- 1月号 伊勢原平成RC戦略計画
- 2月号 ふじさわ湘南RC戦略計画
- 3月号 地区戦略計画委員会の「どんどんチャレンジクラブビジョン作り、行動目標作りをしよう!」

また、各クラブの戦略計画の概要を再度掲載いたします。クラブ活性化の一助になれば幸いです。

9月号 平塚RC戦略計画

「元気で楽しい平塚ロータリークラブを目指して」

平塚RCは毎年会長が交代するロータリークラブにおいて、長期的な視野に立った戦略計画が必要になった。2018~19年度に全会員を対象にして会員満足度調査を実施し、2019~20年度に平塚RCの長所、短所、特徴、地域の課題を徹底分析しSWOT分析手法を使い分析した。2020~21年にSWOT分析を基にどのようなクラブになりたいか、クラブの理想像、目指すビジョン声明を策定した。

クラブビジョン

私たち、平塚ロータリークラブは、良き伝統を堅持しつつ、変革と進化に挑戦し、地域社会や国際社会に対し、持続可能な奉仕活動を行うことで、会員自身の資質の向上と先進的なクラブを目指します。

地区戦略計画委員会より

10月号 横須賀RC戦略計画

中期ビジョン

私たちは、地域社会や世界が変化する中、大切にしたいことを感じとり、多くの人々と出会い、奉仕の輪をひろげ、豊かな魅力ある社会を育てる。

横須賀RCは、

- ①会員の皆さんに大切にしたいことは何か？
世界で、アジアで、日本で、横須賀で、また、人類の一員として、日本国民として、市民として！
 - ②121名の会員が有する多様性の魅力は何か？
 - ③今後どのような人との出会いを期待するか？
 - ④特に関心のある奉仕活動は具体的にどのような内容にしたいか？
 - ⑤横須賀RCにとって「豊かな魅力ある社会」キーワードはなにか？
- ……という観点から中期ビジョンを策定した。

12月号 茅ヶ崎RC戦略計画

スローガン

理想の未来へ

学び、楽しみ、奉仕する！我らが茅ヶ崎ロータリー！

茅ヶ崎RCは60年の歴史と伝統があるクラブでありながら、3分の2の会員が6年未満、世代間も在籍年数も開きが大きいクラブである。

戦略計画立案ガイドに沿って進めた。クラブの好きなところ、課題であろうことを全員からアンケート収集した。それを例会の中で共有し、クラブの理想像を語りあった。炉辺会合、例会前の親睦コーナーで未来ビジョンを語り合い年度目標、まずスローガン作りをした。次年度以降ビジョン策定、行動目標策定につなげていった。

戦略計画をむずかしく考えず、皆で現状把握することから始めたら良い。目標はビジョン策定ではなく、どのような行動をするか、です。

1月号 伊勢原平成RC戦略計画

テーマ

主体はロータリー会員

10年以上前に長期計画を策定した。戦略計画を作り、それを検証報告し、また次の戦略計画を作るという形をとってきた。

1回目:2010～11年 設立25周年に向けて長期計画

を策定

2回目:2014～15年 設立30周年までの長期計画
を計画

3回目:2020～25年の戦略計画を策定

長期計画委員会は、委員長はパスト会長、委員は会長エレクト、他若い会員が中心となり構成。委員会で計画の未達などを検証し、複数の炉辺会合でクラブの良いところ、改善したいところ、将来どんなクラブにしたいか、展望や夢を語り合い、計画に入れていく。

4つの目標

- 1.委員会の役割再構築……組織の強化と良い方向への柔軟化
- 2.環境問題への取り組み…未来の住みやすい地球となるように
- 3.会員増強……………5年間で5名純増を目指す
- 4.奉仕事業とロータリー…財団補助金の活動を5年間に3回実施する

2月号 ふじさわ湘南RC戦略計画

テーマ

クラブビジョンの策定！

それは、クラブ会員が輝く為の未来を創るプロジェクト！

クラブビジョン戦略計画策定の動機…単年度でRI会長、ガバナー、クラブ会長が変わり、それぞれの方針が変わる…それが素朴な疑問であり、不安だった…5年、10年かけて自分達が向かうべき灯台はどこなのか、灯台を目指し示すクラブビジョン、そして掲げたビジョンを具現化する戦略計画が必要である。

プロジェクトを立ち上げ→プロジェクト構成メンバーは若者、バカ者、よそ者とした。プレーンストーミングとKJ法で現状把握を行った。

SWOT分析でクラブビジョン策定

クラブビジョンを具現化する手段の設定

4つのテーマ

- 1.組織力強化目標…質の高いクラブ会員数の増強、クラブ会員の適正配置
- 2.体質強化目標…例会出席率の改善、新会員向けプログラム確立
- 3.I T推進化目標…事務局機能のI T化
- 4.資金目標…………資金計画の最適化

クラブビジョン、戦略計画は、クラブを構成する会員一人一人がこれから先もロータリアンとして輝き続ける為にあるということの認識が重要。

ガバナーエレクトより

2022年国際協議会報告



Jennifer E. Jones RI 会長エレクト



国際ロータリー第2780地区
2021~22年度
ガバナーエレクト

佐藤 祐一郎
(津久井中央RC)



【バーチャル国際協議会】

2022年2月7日より15日までの9日間、2022-23年度に向けた国際協議会が開催されました。当初は1月16日から米国フロリダ州オーランドにて開催予定でしたが、今だに猛威を振るうCOVID-19のため、全ての会議がバーチャル開催に



なってしまったことは残念でなりませんが、準備のためのセッションを事前に幾度も繰り返し、同期のガバナーエレクトや、RI研修リーダーとも充分なコミュニケーションと入念な準備を取ることができたことは幸いでした。又、協議会に先駆けて1月20日に発表となった、ジェニファー・ジョーンズRI会長エレクトによるテーマ講演、8回の本会議は全てオンデマンドで視聴できるビデオでしたので、繰り返し視聴できた事はありがたいことでした。

本会議のビデオを前日に視聴、課題や設問に予め自分なりの解答を用意し、翌日のセッションで研修リーダーの指導の下、その課題について討議するという連日の繰り返しは、ロータリー漬けの非日常的日々でしたが、大変楽しい時間でもありました。

【RI会長エレクトのテーマ発表】

会長エレクトによるテーマの発表講演は実に印象的で、ドラマチック、感動的なものでした。すでにMY ROTARYにおいて、講演内容の全文を見る事ができますが、以下要約を掲載いたします。尚、実際の会場座席には関係者の他、世界のガバナーエレクトから送られた写真パネルが並べられ、私のパネルも最後列に参加しています。



2022年1月20日、web国際協議会に先駆けたビデオによるテーマ講演でRI会長テーマが発表されました。

ご自身の体験(story)を披露する中、出会いと繋がりによる「Rotary Magic」の「力」について語り、さらにDEI—「多様性」「公平さ」「インクルージョン(包摶)」を率先して実現し、あらゆる多様な会員が活動に参加しその能力を發揮す

ることによってロータリーは変化に適応し、改革を成し遂げることが出来る。参加型の奉仕、人間的成长、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが目的意識と熱意を生み出し、地域社会への奉仕に繋がると述べられました。

「会員」とはロータリアンとローター・アクターを意味します。7月からは公共イメージコーディネーターや会長代理にローター・アクターを任命予定です。ローター・アクターは既に女性比率の目標を達成しています。

革新的クラブ、活動分野に基づくクラブを2つ以上作るよう勧奨がありました。心地よさと配慮の哲学をこれらのクラブにも浸透させ、クラブとロータリーでの体験に満足してもらえるよう、会員が積極的に参加できるようにと呼びかけました。

そして最後にこう述べました。中核的価値観、伝統、遺産は私たちが信じ、大切にしている力強いものです。今まで以上の存在になるために何ができるかを想像しながら、さらに築き上げていくものです。名曲の一節「君は僕を夢想家というかもしれない、でも僕一人ではないさ」… ポリオの無い世界、みんなが安全な水を使える世界、疾病の無い、全ての子供が読むことのできる世界、やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。

だからこそ「IMAGINE ROTARY」がテーマです。



【本会議】

本会議では様々なスピーカーからインパクトある数々のストーリー、元RI会長からはリーダーシップについての激励の言葉を頂きました。いずれも次年度に向けての意欲を掻き立て、どのようにしてこの考え方や気持ちを皆様と共有できるかを終始考える時間となりました。最終日の最後に「IMAGINE」の曲が演奏され、感動的なフィナーレとなりました。

【セッション】

最も重要で価値あるリソースは同期ガバナー、仲間だと言う事を再認識いたしました。

さらに日本国内のガバナーエレクトだけでなく、外国からの参加者も一緒に加わった事は、その国状や環境の違いによる多様性の理解の上で、大変勉強になりました。

第2、第3グループ共催チャリティーコンサート

Hopeful Harmony

2021～22年度
第3グループ・ガバナー補佐
椋梨 兼彰
(藤沢RC)



2022年6月11日(土)茅ヶ崎市民文化会館大ホールにてROTEX協力のもと第2、第3グループ共催でチャリティーコンサート「Hopeful Harmony」を行うことになりました。

2年前から始まった新型コロナウイルス感染拡大により地区の様々なイベントが中止・延期になり全ての青少年交換プログラムも同様に中止になりました(次年度派遣、受け入れも中止)。

今年度第2、第3のガバナー補佐(石田・椋梨)が地区青少年交換委員会の委員長経験者であり、このままでROTEX(ロータリー青少年交換プログラムを終了した者によって構成される組織)活動もバラバラになってしまふ事を懸念し、コロナ禍により約2年の間思うような活動が出来ずにいる新世代の皆さんを元気づけたい、活力を与えると考えている中に、2013-14台湾派遣学生であった野田直君が2021年フジテレビ系人気番組「全国ハモネプリング」に東大アカペラグループで出演後、実力が認められUNIVERSAL MUSIC JAPANから「Limerick」(リメリック)としてアカペラカバーアルバム「The First Touch」でデビューしたのを知り、今回のチャリティーコンサートの企画になりました。

各クラブの会長幹事クラブメンバーの協力により進めて参りますが、ROTEXを中心にあくまでも若手中心に活動してもらいたいと考えております。センタークリーク、ロータークリーク、米山奨学生にも積極的に働きかけていきたいと思います。

現在、パンフレット、チケット制作を終え3月1日(火)よりチケット発売を致します。チケットも若者が購入しやすいように「ライブポケット」(ネット販売)と手売りを致します。今回の企画はチャリティーコンサートですので入場料の一部をロータリーポリオ撲滅活動に寄付いたします。当日、会場では感染対策には十分に配慮しソーシャルディスタンスを取り、観客数も半分以下にして行いますので安心してご来場していただけたらと思います。

今後、各クラブ、各方面でお話をさせていただいくと思いますが是非ロータリアンの皆様は勿論、お子様、お孫様含めて皆様のご参加をお待ちしております。美しい音楽で楽しいひとときを過ごしましょう!



地区会員増強維持拡大委員会より

GROW MORE MEMBERSHIP!

新会員オンライン親睦会を開催!



この度、初の新会員オンライン親睦会を開催!この数年間の新型コロナウイルスの影響は、我々の生活様式だけでなく、各クラブのロータリー活動を変えました。どのクラブも活動が妨げられ、会員の高い満足度の維持に大変ご苦労されていることと思います。新会員に対しても、親睦や奉仕、研修の機会が少ないなど、多くのクラブの課題です。この2年、IMの中止や、親子クラブでの合同例会の中止など、各グループで横のつながりを作ることも難しかった。そこで、今は実際に会うことが難しくても、次にリアルで集まれたときに、「あ!この前、オンラインでしたありがとうございます!」「ようやくお会いできましたね!」と名刺交換も気軽に会話も弾むのではないか。オンラインなので規模は大きくない方が一人ひとりのお話が聞きやすいだろうということで、グループ別での開催です。

第1回は、第1、第4グループのオンライン親睦会を1月27日(木)20:00から開催しました。14名の新会員のみなさま、クラブの幹事や北村AG、三澤AG、佐藤ガバナーエレクトにもご参加頂き、和やかに皆様とお話しをする事が出来ました。お名前や入会動機、ご職業、クラブでどのような活動をしているかなど、インタビューリレーをしました。「今度メイキャップ伺いますね!」「保険屋さんが4人もいる!」「〇〇さん、ご存知ですか?」「今度、卓話にいらして下さい!」など、お仕事の合間でのご参加の方もいらっしゃいましたが、笑い絶えない時間となりました。

第2回は、第5A、第8グループ。2月10日(木)20:00から開催しました。大雪予報の日で、消防などされている方や仕事によっては除雪作業などで

2021~22年度
地区会員増強維持拡大委員会
委員長 岩澤 あゆみ
(茅ヶ崎RC)



参加が難しいかと思っておりましたが、13名の新会員、苗村AG、鳥山AG、佐藤ガバナーエレクトのご参加の中、開催できました。今回は職業も様々で、モータースポーツの話題で盛り上がったり、業界が同じで実は知り合いだった方達が互いにロータリアンだったと知って驚いたり、他団体で一緒に活動していた仲間とこれからはロータリーでよろしくと挨拶が交わせるなど、楽しく交流が出来ました。電車移動中で耳だけ参加の新会員さんもいましたが、ラジオを聴いてるみたいで楽しいと感想をくださったり、今日だけは顔出しNGでという方にみな会いたいからメイクに行こう!!という会話になるなど、楽しい親睦となりました。

今回ご参加下さった新会員のみなさま、そして新会員へのお声かけにご協力下さったクラブのみなさま、本当にありがとうございました。今後、他のグループでもオンライン、グループによっては希望によりリアルでの親睦会を開催します。第2、第3グループは石田AG、椋梨AGが中心となってリアルで開催の予定です。

最後に、「Each One Bring One!」ということで、引き続き各クラブ会員増強にも積極的に取り組んで頂き、クラブの活性化につなげて頂ければと思います。

【会員増強で成果を生む8つの心得】

1. 強い使命感
2. 熱意を込めて
3. 積極的に
4. 繙続的に
5. 目標定めて計画的に
6. 全会員で一丸と
7. 充分な資料を備えて
8. 新会員のオリエンテーションは確実に（入会のしおり）



「Think-global Act-local」をテーマに、「ロータリー奉仕デー」の企画/2021年度

「ロータリーコーディネーター」の仕事は、会員基盤部門だけに関わらず、「ロータリー活動そのものの活性化をコーディネートする仕事」と理解して、地区研修リーダーとして、地区・地区内クラブの運営や事業計画立案に関わる時は、「クラブ活性化(即ち会員増強)」は、「ロータリー財団補助金を積極的に使用する奉仕PJ」を実施して、そのPJを「ロータリー活動の広報とイメージアップ向上のために、PJ実施前後の対外広報活動の準備」を三位一体の基本として計画してきました。

然し乍ら、日本の会員として共通する問題でもあると思いますが、以前の「ロータリー財団6つの重点分野」では、自分たちの身近な問題として捉え難かったことは否めません。

そんな折に、「環境」が7つの重点目標に追加され、然もシェカール・メータRI会長は「ロータリー奉仕デー」の実施を呼びかけられたので、2700地区としては、2020年度から取り組んでいる「環境保全活動」と「ロータリー奉仕デー」をジョイントする事を、今年度の地区的奉仕デー方針「Think-global Act-local」とし、地区内61全クラブ参加の「ロータリー奉仕デー」を開催しました。他地区的参考にでもして頂ければ幸甚と思い紹介いたしました。

2700地区が2020年度より参加している「宗像国際環境会議」に、「2700地区ロータリークラブ」として参加し、当地区奉仕デーの事業を「宗像国際環境会議のField-work」とし、地区会員を対象とした「会員対象の環境保全研修会は福岡市内研修会場」と「地区内61の全クラブ」と「宗像国際環境会議会場」をオンラインの同時進行のハイブリットで実施し、しかも一部の講演等は「Facebook」で同時に世界発信し、

「宗像国際環境会議」のページにて参加出来るようにしました。

1月のRI会長方針を受けてから、地区内全クラブを対象とした急な対応となったので、2月からの準備を時系列に紹介します。

- 1.地区研修委員会と社会奉仕委員会・ロータリー財団委員会にて詳細検討。
- 2.地区研修委員7名全員を地区内7グループの担当とし、7名のガバナー補佐を支援することとし、「ロータリー奉仕デー対策ガバナー補佐会議」を数回開催。
- 3.PETSの全体会議にて「地区奉仕デーの概要説明と財団補助金等の適応説明」→「グループ別会議」→全体会議にて「各グループの行動予定」と「事前・事後の対外広報計画の説明」。
- 4.地区研修協議会にて、約800名の会員に「2700地区ロータリー奉仕デーの意義」を再度説明。
- 5.地区内7グループの活動は未だ進行中のPJもあるので最終的な総括は出来ていませんが、6グループが終わった段階で、地区会員総数(約3200名)の倍以上の参加人数です。
- 6.このPJは、12月5日に東京で開催された「ロータリー財団地域セミナー」にて、「第3地域の事業例」として報告する栄誉も賜りました。

この事業は地区内会員や一般の方の多くの賛同と参加を得たので、2022年度は更にバージョンアップして、下記のような事業を計画し、既に準備が進んでいます。

「クラブ活性化」のために「会員基盤向上部門」「公共イメージ向上部門」と「ロータリー財団部門」の 3部門合同の「クラブ活性化奉仕PJ」の企画/2022年度

1.「クラブ活性化セミナーを今年6月に開催する」

担当委員会は会員基盤向上部門・広報・公共イメージ向上部門・ロータリー財団部門の3部門とする。

2.「オープン例会Week」の開催

会員基盤向上部門は、7月から8月にかけて、地区全61クラブを対象とした1or2週間の「オープン例会Week」の開催を働きかける。オープン例会の出席対象者は、1.会員候補者 2.会員事業所の社員 3.会員家族 4.マスコミ関係 5.等々で、出席者の食事代金は、地区負担する。

3.「2700地区の取り組む環境保全」の映像を作成し、オープン例会時の全てのクラブの卓話時間に使用する。

映像は、「国際ロータリーの紹介・国際ロータリーの環境保全活動・

2700地区的環境保全活動」の内容の30分映像を、地区研修委員会が作成する。

- 4.「地区環境保全奉仕デー」は、2021年度を参考にして、地区社会奉仕委員会が主管で「宗像国際環境会議」とコラボして9月～11月の間に実施する。
- 5.「オープン例会」と「地区環境保全デー」は、公共イメージ向上部門が事前・事後の対外広報を周到に準備する。
- 6.「地区環境保全PJ」に関わる費用は、「ロータリー地区補助金」と「地区事業補助金」の対象となることをロータリー財団委員会は周知を図る。

第三地域 ロータリーコーディネーター補佐
安増 恒夫(宗像RC)

「第3地域戦略計画セミナーについて」

ロータリーを発展させるためには、ロータリーの「ビジョン声明」にあるように持続可能なよい変化を生むために、そしてロータリーが社会の変化に適応し、社会から必要とされる団体として認知されなければなりません。

また、ロータリーの戦略計画に3つの優先項目が決められ、「公共イメージと認知度の向上」、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重視化と増加」であることはご存知の通りです。

この3つの項目を連携することによって会員基盤向上につながることになります。現在は4つの優先項目に変わり「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかかわりを促す」、「適応力を高める」ための行動計画を推進することになっています。

第3地域では、ロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)の地域リーダーが共同で新年度が始まって早い時期(7月第一週か第二週の土曜日)に毎年交代で担当をつとめ「戦略計画推進セミナー」を開催しています。

このセミナーのプログラムは、各地区ガバナーによる地区方針の発表、

前年度に実施された公共イメージ向上につながる奉仕活動をメディアで報道された様子を含め有効な参考事例として紹介することを中心構成し、かつ各地区ガバナーの交流の場として運営しています。

しかし、RC、RRFC、RPICの活動の認知には至っておらず、地区的研修会などで発表する機会が少ないので現状です。

RC、RRFC、RPICは3人の地域コーディネーターとそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非お声がけください。

クラブの会員増強と活性化につながることのお手伝いが出来るよう準備をしています。

オミクロン型コロナ感染拡大によってまだまだ不透明な環境ではありますが、国・行政の指針を守り、しっかりと予防対策をすることによって「一日も早く、大切な人達と安心して会える日常に戻りますこと」を願っています。

第三地域 ロータリーコーディネーター補佐
片山 勉(大阪東RC)



Dawn of Nobility — How was Rotary established? —

ロータリーの創生

Vol.8

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)
監修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

○全米ロータリークラブ連合会 The National Association of Rotary Clubs

1910年8月15日～17日、シカゴのコングレスホテルで全米ロータリークラブ連合会第1回大会が開催された。

ロータリーの在り方に懐疑的だったシートルとミネアポリスのロータリアンの後押しで、シェルドンは物質的相互扶助オンリーから脱し、職業倫理向上に転ずるため新たな綱領を作成し提出、正式に公式文書として採択された。

<ロータリーの綱領>

1. アメリカ全土に加盟ロータリークラブを結成することによってロータリーの原則を発展させること
2. アメリカ全土の加盟ロータリークラブの業務と原則を統一すること
3. 市民としての誇りと忠誠心を喚起し且つこれを奨励すること
4. 進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること
5. 加盟ロータリークラブの個々の会員の事業上の利益を増大させること

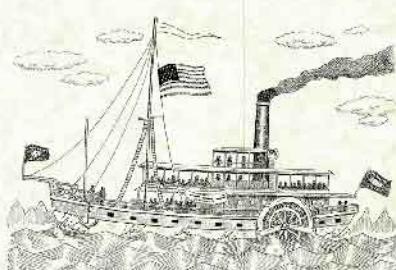
この綱領はシカゴクラブの定款をベースにしたものだったが、「会員相互の取引関係を向上させること」が削除され、新たに「進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること」が付け加えられ、物質的相互扶助からの変換を意味するものであった。

この時、一般市民のリーダーであるべきロータリークラブが、より発展していく組織として精神的な強化を成し遂げたこととなる。会員たちが第4条「進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること」が第5条「加盟ロータリークラブの個々の会員の事業上の利益を増大させること」に繋がることを理解するのにそう時間はかかるなかった。

この大会の最終日に催された晩餐会で連合会の企業経営委員会委員長に就いていたシェルドンが奉仕哲学の講演を行い、その中で“*He profit most who serves his fellows best.*”という言葉を発表した。



Arthur F. Sheldon



○二つのモットー

1911年8月21日、オレゴン州ポートランド、全米ロータリークラブ連合会第2回大会が催された。企業経営委員会報告は欠席した委員長シェルドンに代わり、事務総長を務めるチェスレー・ペリーが予め預かっていた報告書を代読した。聴衆はシェルドンの長文に聞き入った。朗読が終わった後、シェルドンのビジネススクールの教え子ジェームズ・ピンカム (James Pinkham) が“*He profit most who serves best.*”をモットーすることを提案し、満場一致で採択された。

シェルドンの言葉がモットーとして採択された翌日、コロンビア川を遊覧するクルージングがエクスカーションとして行われた。船中ではロータリアンたちが様々な演説を行った。その中でミネアポリスクラブの会長ベンジャミン・フランク・コリンズ (B.F.Collins) が行った演説がロータリアンたちの心を掴んだ。コリンズが語った“*Service, not self*”(超我の奉仕)とい

う言葉は一部で減私奉仕と誤解されたが、彼の本意は「職業上の奉仕の精神は、会員間だけでなく、ロータリークラブ以外にも向けるべきである」ということであり、selfは個人ではなくロータリークラブを指している。従つてシェルドンの唱えたモットーに極めて近いものであった。コリンズのモットーはロータリアンたちに多用され、彼の死後“*Service above self*”と変更された。これが正式にモットーとして採用されたのは1950年のデトロイト大会である。



B.F.Collins



GROW MORE MEMBERSHIP!

～新会員's VOICE vol. 7～

地区会員増強維持拡大委員会 委員 関根 正司 (相模原グリーンRC)

新会員's VOICE 7回目は第5Aグループの新会員をご紹介します。陶芸家で、ご自身の陶芸教室にロータリー会員の奥様が通わっていたことがきっかけでロータリーという団体を知り、出身の地ではない相模原で知り合いを広げたいと入会された相模原ロータリークラブの佐藤典克会員。断る理由は無いと、お世話になった方々からのお誘いで入会したのもつかの間、次年度はガバナー輩出クラブということで、新会員でありながらもしっかりと頑張りたいという津久井中央ロータリークラブの本田泰章会員。多くの尊敬する先輩があり、夜2回の例会なら参加出来るかもと入会したクラブで、早速に公共イメージ委員長を担い、自身の持つスキルを活かしてクラブに貢献をしていきたいという相模原ニューシティロータリークラブの柴田卓会員。入会の決め手となったことはどのようなことなのか、これからどのような活動をロータリーで取り組んでいきたいか、フレッシュな目線でお声を聞かせていただきました。新会員の皆様が何を感じ、これからをどう考えているかの声の中に、クラブにとっての増強維持のヒントが隠されているかもしれません。(動画は約34分ほどです)



<https://youtu.be/O3DXHG-ZgI4>

新会員

佐藤 典克 (相模原RC)
柴田 卓 (相模原ニューシティRC)
本田 泰章 (津久井中央RC)

インタビュー

岩澤あゆみ(地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC)
峯尾 勝彦(地区会員増強維持拡大副委員長・綾瀬春日RC)
関根 正司(地区会員増強維持拡大委員・相模原グリーンRC)

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



佐藤 まどか

- ①海老名櫻
- ②2021.12.2
- ③ITサービス業
- ④小林和彦



古田 昌也

- ①イノベーション
ゲートウェイ湘南
- ②2022.1.1
- ③建設業
- ④甘粕和彦



二塚 雅則

- ①三浦
- ②2022.1.13
- ③廃棄物収集運搬業
- ④石崎勇吾



川崎 道生

- ①小田原城北
- ②2022.1.18
- ③建設付帯業
- ④須藤公司



青木 薫

- ①平塚
- ②2022.1.27
- ③塗装・リフォーム
- ④今村佳広



吉村 行正

- ①湯河原
- ②2022.1.28
- ③保険業
- ④望月博文

訃報 ご冥福をお祈り致します



網島 清
(平塚西RC)
2022年1月21日逝去
(享年75歳)
ロータリー歴21年
第3回米山功労者
PHF+3
ベネファクター



葛籠貫 京子
(厚木県央RC)
2022年1月30日逝去
(享年73歳)
ロータリー歴13年
PHF+1
米山功労者2回



池上 實 (茅ヶ崎RC)
2022年2月2日逝去
(享年85歳)
1971年2月18日入会
1985-86年度 クラブ会長
1998-99年度 分区代理
第4回米山功労者

第2780地区 2022年1月末 会員数

グル ープ	ク ラ ブ 名	例 会 数	出席 率 (%)	会員数									
				1月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
				男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性
				合計	会員	合計	会員	合計	会員	合計	会員	合計	会員
1	横須賀	2	74.74	117	14	121	14	2	1	6	1	-4	0
	横須賀北	1	83.33	19	4	20	4	0	0	1	0	-1	0
	三浦	3	68.43	30	1	29	1	3	0	2	0	1	0
	横須賀西	1	91.67	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	横須賀南西	2	85.00	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0
	計		80.63	191	19	195	19	5	1	9	1	-4	0
2	鎌倉	4	61.91	79	14	78	13	4	1	3	0	1	1
	逗子	3	52.71	42	4	45	4	1	0	4	0	-3	0
	鎌倉大船	2	75.00	15	0	16	0	1	0	2	0	-1	0
	葉山	3	60.32	21	4	22	4	2	1	3	1	-1	0
	鎌倉中央	0	0.00	19	4	22	4	0	0	3	0	-3	0
	計		49.99	176	26	183	25	8	2	15	1	-7	1
3	藤沢	2	71.43	41	13	42	13	1	1	2	1	-1	0
	藤沢西	2	62.5	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0
	藤沢東	2	80.02	33	7	32	8	4	0	3	1	1	-1
	藤沢北西	1	83.33	12	0	11	0	1	0	0	0	1	0
	藤沢南	3	60.44	38	7	38	7	1	0	1	0	0	0
	ふじさわ湘南	4	51.47	34	1	34	1	0	0	0	0	0	0
	かながわ湘南	2	37.5	20	12	21	13	0	0	1	1	-1	-1
	アーカス湘南	3	100.00	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	イバシヨグートウェン	1	66.67	29	1	27	1	2	0	0	0	2	0
	計		68.15	230	44	228	46	9	1	7	3	2	-2
4	茅ヶ崎	4	88.28	40	5	39	5	1	0	0	0	1	0
	寒川	3	93.11	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0
	綾瀬	3	90.91	35	0	35	0	0	0	0	0	0	0
	茅ヶ崎湘南	2	61.84	43	1	41	1	5	0	3	0	2	0
	茅ヶ崎中央	3	66.16	49	3	49	2	3	1	3	0	0	1
	綾瀬春日	2	71.50	24	1	24	1	1	0	1	0	0	0
	計		78.63	221	11	218	10	10	1	7	0	3	1
5A	相模原	3	67.45	70	6	68	5	3	1	1	0	2	1
	相模原グリーン	2	62.75	51	5	52	5	0	0	1	0	-1	0
	津久井中央	1	66.67	22	4	20	4	2	0	0	0	2	0
	相模原橋本	2	47.62	63	8	59	9	6	0	2	1	4	-1
	相模原ニューシティ	1	64.29	42	5	42	5	0	0	0	0	0	0
	相模原南	3	81.56	52	9	51	7	2	2	1	0	1	2
	相模原中	3	95.83	26	3	27	3	0	0	1	0	-1	0
	相模原西	2	63.64	44	4	45	5	0	0	1	1	-1	-1
B	相模原西今井野ローラー醸	0	0.00	8	4	8	4	0	0	0	0	0	0
	相模原東	2	78.57	16	4	14	4	2	0	0	0	2	0
	相模原柴胡	3	75.31	27	2	26	2	1	0	0	0	1	0
	相模原かめりあ	1	66.67	30	30	23	23	7	7	0	0	7	7
	計		64.20	451	84	435	76	23	10	7	2	16	8

グル ープ	ク ラ ブ 名	例 会 数	出席 率 (%)	会員数									
				1月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
				男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性
				合計	会員	合計	会員	合計	会員	合計	会員	合計	会員
6	厚木	2	81.33	41	2	42	2	0	0	1	0	-1	0
	大和	3	96.88	34	5	33	5	2	0	1	0	1	0
	座間	2	58.14	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0
	大和中	3	79.45	25	1	25	1	1	0	1	0	0	0
	厚木中	2	86.66	24	1	24	1	3	0	3	0	0	0
	大和田園	2	86.38	30	2	31	2	0	0	1	0	-1	0
	海老名	1	52.94	50	4	51	4	1	0	2	0	-1	0
	海老名樺	2	60.81	37	5	35	4	2	1	0	0	2	1
	厚木県央	1	71.05	39	3	38	4	2	0	1	1	1	-1
	本厚木	1	55.56	36	3	35	4	2	0	1	1	1	-1
	計		72.92	346	27	344	28	14	1	12	2	2	-1
7	秦野	2	87.78	50	7	49	7	1	0	0	0	1	0
	伊勢原	4	58.33	51	3	51	3	2	0	2	0	0	0
	秦野中	4	79.05	38	2	39	2	1	0	2	0	-1	0
	伊勢原中央	2	83.33	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	秦野名水	3	81.25	16	7	16	7	0	0	0	0	0	0
	伊勢原平成	3	66.67	20	1	19	0	1	1	0	0	1	1
	計		76.07	187	20	186	19	5	1	4	0	1	1
8	平塚	4	74.29	62	5	59	4	3	1	0	0	3	1
	大磯	2	65.39	16	2	16	2	0	0	0	0	0	0
	平塚北	2	44.07	37	6	37	6	1	0	1	0	0	0
	二宮	1	100.00	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
	平塚西	3	72.99	29	1	30	1	0	0	1	0	-1	0
	平塚湘南	3	65.08	46	7	46	8	1	0	1	1	0	-1
	計		70.30	198	23	196	23	5	1	3	1	2	0
9	小田原	2	84.43	63	5	58	2	6	3	1	0	5	3
	湯河原	3	88.89	26	4	24	3	2	1	0	0	2	1
	箱根	2	81.95	36	2	36	2	1	0	1	0	0	0
	小田原北	3	84.40	32	4	30	4	2	0	0	0	2	0
	小田原城北	1	65.12	45	3	45	3	1	0	1	0	0	0
	小田原中	2	87.75	49	5	49	5	0	0	0	0	0	0
	足柄	0	0.00	18	1	17	1	2	0	1	0	1	0
	計		70.36	269	24	259	20	14	4	4	0	10	4
	総計		70.14	2,269	278	2,244	266	93	22	68	10	25	12
	地区内クラブ												
	65												

訂正の (12月末 出席報告・会員数)
ご連絡 地区内会員数(人) 2,264 (278)

()内は女性会員

本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員増減数(人)
------------	------------	-------------

93 (22)	68 (10)	25 (12)
---------	---------	---------

■事務所
〒251-0055

藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル5階

Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866

E-mail:g-office@rid2780.gr.jp

URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2022年3月1日 第9号

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780
 2021~2022 Governor
Toru Tajima

■OFFICE
 Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501
 Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,
 Kanagawa 251-0055 JAPAN
 Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866
 E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
 URL :https://rid2780.gr.jp

■事務所
田島 透